

# 第30回 画像センシングシンポジウム

The 30th Symposium on Sensing via Image Information  
(SSII2024)

## 発表募集

<http://ssii.jp/>

会期：2024年 6月 12日(水)～14日(金)

会場：パシフィコ横浜

(プレナリーセッションのみオンライン視聴いただけます)

発表応募期限：2024年 3月 1日(金)

採否決定通知：2024年 3月 15日(金)

カメラレディ原稿提出期限：2024年 4月 22日(月)

応募原稿：A4サイズ1ページから8ページ

カメラレディ原稿：A4サイズ2ページから8ページ

## 『SSII30周年 学び、育て、つなぐ、未来へ』

### 【SSII2024での発表をおすすめする理由】

#### ■高密度な情報収集・人材交流を可能にする

→ 学ぶ：最先端技術の発表を日本語で  
聴講可能

→ 育てる：質の高い研究へのスポットライト

→ つながる：学術・産業界からの多数参加者  
による交流

## ごあいさつ

SSII2024実行委員長：入江 豪(東京理科大学)

第30回画像センシングシンポジウム(SSII2024)における発表を募集いたします。画像センシングシンポジウム(SSII)は、画像センシング技術の発展を支えることを目的としたシンポジウムとして、当分野の進展とともにその規模を拡大して参りました。参加者のためのシンポジウムを至上命題とし、毎年産業・学術双方の観点から具体的な価値をご提供できるプログラムをお届けしてきております。おかげさまで、近年では1,500名を超えるみなさまにご参加いただける、当分野国内最大規模の学術集会へと成長し、また、そのうちの7割超が産業界からのご参加という、他に類のないシンポジウムとなっております。

SSII2024では引き続きインタラクティブセッションにおける発表論文を募集しております。当シンポジウムでは、画像センシングの学術的進展、技術的發展、産業への応用に関連するテーマを扱った広範なご発表を歓迎いたします。完成された研究発表だけでなく、進行中のプロジェクト・萌芽的な試みに関するご発表もお待ちしております。研究成果の発信に加え、多様なバックグラウンドを持つ参加者の皆様との交流とディスカッションを通じ、研究を大きく発展させる場としてご利用いただけます。また、今回SSII2024では、質の高い研究にスポットライトを当てる新たな試みとして、全論文の中から厳選した論文に対して口頭発表機会をご提供する「スポットライトセッション」を企画しています。研究成果を効果的にアピールできるこのチャンスをぜひご活用ください。

SSII2024は、SSII創立30周年となる記念すべき開催回となります。チュートリアルセッション、技術動向解説セッション、オーガナイズドセッションなど、ご好評をいただいております従来のセッションに加え、多数の記念企画を盛り込んだ一層魅力的なプログラムをご用意して参ります。

ぜひ、SSII2024への積極的なご参加と論文のご応募をお願い申し上げます。

### ■本シンポジウムの目指すもの、発表論文の内容

本シンポジウムは「画像センシング技術」を軸として、機械学習・パターン認識・人工知能(AI)活用技術など、さまざまな分野の方々が集結し、研究発表および議論を行う「良き場」となることを目指しております。

産業界にインパクトを与える先進的な基礎研究や挑戦的な問題提起から、今そこにある実課題への取り組みや、現場での実利用に欠かせないノウハウやエンジニアリングに関する発表まで広く募集いたします。

今回SSII2024は30回目の記念大会ということで、次の10年を見据えた社会や学術界の動向を取り入れつつ、常に発展できるシンポジウムとなれるよう尽力して参ります。

### ■インタラクティブ&ショートオーラルセッション

発表者と参加者の自由な研究コミュニケーションの場となるインタラクティブ&ショートオーラルセッションの発表を募集いたします。第30回大会となるSSII2024では、現地会場において対面のインタラクティブセッションを開催します。

インタラクティブ&ショートオーラルセッションでは、先進的な研究の発表のみならず、実利用を想定したシステムや創造的な工夫、実用化された特許など、大学・研究機関ならびに企業の方からの発表も多数お待ちしております。また、国際会議等で発表された既発表の内容を、SSIIの場で活発に議論したい、多くの方の意見を聞きたい、研究内容を広めたいという発表も歓迎いたします。

SSIIでは2007年以降、発表者と参加者がインタラクティブに議論することこそが、皆が集結する会議の本質であるという考えのもと、インタラクティブセッションを最も重視した運営を行って参りました。SSII2023では、発表者の

皆様に集中して議論していただくために、現地会場での対面インタラクティブセッションを実施しました。SSII2024ではさらに、全投稿論文の中からスポットライト論文を選定し、現地会場にてショートオーラル発表の機会を提供する新たな試みも企画しています。

なお、新型コロナウイルス感染症の再拡大などの理由により現地会場でのインタラクティブセッション開催が不可能となった場合は、オンラインを中心としたインタラクティブセッションとなる可能性があります。また、新型コロナウイルス感染症に関連して、やむを得ぬ事情により会場での対面発表が困難となった発表者に対しては、オンライン発表への変更を認める措置をとります。

### ■応募方法および提出資料

発表応募および各種発表資料の提出は、Webサイト(<http://ssii.jp/>)で受け付けます。それぞれの書式もWebサイトからダウンロードできます。

発表応募時に、発表内容をA4サイズ1ページ～8ページにまとめた応募原稿をご提出ください。応募原稿に対し査読を行い、採否を決定します。

採録された発表の提出資料は以下の通りです。

- カメラレディ原稿：A4サイズ、2ページ～8ページ、PDF形式
- ポータルサイト掲出資料：スライド1枚の概要説明、PDF形式
- 発表概要動画：45秒以内の発表概要、mp4形式。例年のショートオーラル動画と同様のもので、ポータルサイトに掲載予定です。

### ■優秀発表の表彰

SSIIでは発表に対し、以下の表彰を行います。

#### (1)SSII学術賞

インタラクティブセッションで発表された論文の中から、実用性・完成度・社会波及効果・プレゼンテーションなどのインパクトを総合評価し、優秀な論文を表彰いたします。

#### (2)SSIIオーディエンス賞

インタラクティブセッションの発表の中から、聴講された参加者の皆様の投票をもとに優秀な発表を表彰いたします。

#### (3)画像センシング技術研究会高木賞

SSIIの創始者である故高木幹雄先生のご功績にちなみ、過去のSSIIで発表された研究成果の中から実用化の観点で社会に大きく貢献したものを画像センシング技術研究会高木賞として表彰いたします。募集要項はWebサイトをご覧ください。

### ■SSII2024についてのお問い合わせ

#### 【画像センシング技術研究会 事務局】

〒169-0073 東京都新宿区百人町2-21-27 アドコム・メディア(株)内  
Tel: 03-3367-0571 Fax: 03-3368-1519 Mail: info@ssii.jp

SSII2024では、この活動にご賛同くださり、ご支援いただけるスポンサーを広く募集しております。詳しくはWebサイト(<http://ssii.jp/>)をご覧ください。現地主体のハイブリッド開催という形式に即した、現地・オンライン両面で参加者との交流を図るイベント(インタラクティブブース等)を計画中です。ぜひご検討ください。

## ■チュートリアルセッション

画像センシングに関する基礎理論や実用化が進む注目の技術、今話題のホットな技術について、第一線でご活躍の講師陣にわかりやすく解説いただきます。

## ■技術動向解説セッション

国際的な研究フィールドでアクティブに活躍されている若手トップ研究者をお招きし、世界最先端の技術研究動向をまとめて一挙に解説いただきます。今まさに世界中が注目している最新技術や押さえておくべき動向を日本語で知ることができるチャンスです。

## ■オーガナイズドセッション

実応用から基礎まで画像センシングの新しい応用&技術革新について期待が高まるテーマを選びすぎります。

## ■特別講演

画像センシング関連分野をリードする第一人者をお招きし、技術革新や未来への展望に関するご講演をいただきます。SSII2024では2件の講演を予定しております。ご期待ください。

## ■参加費

● 一般(発表、現地聴講、オンライン聴講)：30,000円(35,000円)

● 学生(発表、現地聴講、オンライン聴講)：8,000円(10,000円)

● 学生(オンライン聴講のみ)：無料

● グループ(発表、現地聴講、オンライン聴講)：60,000円(一般3名分)

※一般登録、有料の学生登録、グループ登録された参加者は、聴講において現地とオンラインを自由に組み合わせてご参加いただけます

※参加費は5月15日までにWebにて事前登録していただいた場合となります  
5月16日以降のお申し込みについてはカッコ内の金額となります

※早めのお申し込み手続きをお待ちしております

## ■展示会

1階の展示ホールでは、併設展示会 画像センシング展2024(入場無料)が開催されます。

●画像センシング展2024

お問い合わせ：アドコム・メディア(株) 展示会事業部 Tel:03-3367-0571  
<https://www.adcom-media.co.jp/iss/>

## ■主催：画像センシング技術研究会

会長：青木 義満(慶應義塾大学)

【協賛】(予定) 映像情報メディア学会 応用物理学会 可視化情報学会 画像電子学会 計測自動制御学会 人工知能学会 情報処理学会 精密工学会 電気学会 電子情報通信学会 日本印刷学会 日本顔学会 日本生体医工学会 日本核医学会 日本機械学会 日本航空宇宙学会 日本材料学会 日本写真学会 日本写真測量学会 日本超音波医学会 日本バーチャルリアリティ学会 日本非破壊検査協会 日本リモートセンシング学会 日本ロボット学会 溶接学会 レーザー学会

【協力】(予定) 電子情報通信学会 パターン認識・メディア理解研究会 情報処理学会 コンピュータビジョンとイメージメディア研究会 精密工学会 画像応用技術専門委員会 電気学会 非整備環境における知的センシング技術調査専門委員会

## ■SSII2024実行委員会

実行委員長：入江 豪(東京理科大学)

◆実行幹事：秋月 秀一(中京大学)、平川 翼(中部大学)、白井 啓一郎(信州大学)

◇運営委員会：西山 正志(委員長:鳥取大学)

◆財務部会：木村 大毅(部会長:日本IBM)、福田 悠人(副部会長:群馬大学)、藤原 孝幸(顧問:北海道情報大学)

◆庶務・会場部会：金子 直史(部会長:東京電機大学)、亀田 裕介(副部会長:上智大学)、鈴木 亮太(埼玉大学)、佐藤 惇哉(岐阜大学)、石坂 紀行(華為技術日本)、鳥屋 剛毅(秋田大学)、中野 学(NEC)、坂村 祐希(日本自動車研究所)、山口 友之(顧問:筑波大学)

◆広報部会：伊東 聖矢(部会長:情報通信研究機構)、カストナー マーク アウレル(副部会長:京都大学)、峰松 翼(顧問:九州大学)

◆出版部会：紋野 雄介(部会長:東京工業大学)、西村 仁志(副部会長:KDDI総合研究所)、榎並 直子(顧問:武庫川女子大学)

◆リエゾン部会：井上 周祐(部会長:fcuro)、近藤 佑亮(副部会長:DeepEyeVision)、青山 秀紀(顧問:パナソニックホールディングス)

◇プログラム委員会：片岡 裕雄(委員長:産業技術総合研究所)、中村 克行(副委員長:日立製作所)、佐藤 育郎(副委員長:東京工業大学/デンソーアイティラボラトリー)

◆チュートリアルセッション部会：川上 玲(部会長:東京工業大学)、大倉 史生(副部会長:大阪大学)、吉田 周平(NEC)、鈴木 哲平(デンソーアイティラボラトリー)、井上 直人(サイバーエージェント)、吉橋 亮太(LINEヤフー)、柴田 剛志(顧問:NEC)

◆オーガナイズドセッション部会：菅沼 雅徳(部会長:東北大学)、南里 卓也(副部会長:日産自動車)、福井 宏(NEC)、下田 和(サイバーエージェント)、八木 拓真(産業技術総合研究所)、住吉 信一(顧問:デンソーアイティラボラトリー)

◆インタラクティブ&ショートオーラルセッション部会：神谷 卓也(部会長:東芝テック)、鈴木 智之(副部会長:サイバーエージェント)、相澤宏旭(広島大学)、原 健翔(顧問:産業技術総合研究所)

◇表彰小委員会：山下 隆義(委員長:中部大学)、入江 豪(顧問:東京理科大学)

## ■組織委員会

青木 義満(慶應義塾大学)、石井 雅人(ソニーリサーチ)、石山 墨(NEC)、入江 豪(東京理科大学)、浮田 浩行(徳島大学)、梅田 和昇(中央大学)、大橋 剛介(静岡大学)、奥富 正敏(東京工業大学)、加藤 邦人(岐阜大学)、斎藤 英雄(慶應義塾大学)、佐藤 雄隆(産業技術総合研究所)、清水 毅(山梨大学)、鷺見 和彦(青山学院大学)、諏訪 正樹(オムロンサイニクエックス)、田中 正行(東京工業大学)、谷口 恭弘(ヤマハロボティクスホールディングス)、寺田 賢治(徳島大学)、中島 慶人(電力中央研究所)、長原 一(大阪大学)、中村 克行(日立製作所)、庭川 誠(明電舎)、野口 稔(日立ハイテクソリューションズ)、橋本 学(中京大学)、藤吉 弘亘(中部大学)、堀 修(東芝)、増田 誠(沖電気工業)、満倉 靖恵(慶應義塾大学)、望月 貴裕(日本放送協会)、門馬 英一郎(日本大学)、山下 隆義(中部大学)、横山 敦(京セラ)

名誉顧問：中島 真人(慶應義塾大学)

顧問：輿水 大和(中京大学/YYCソリューション)

監事：油田 信一(芝浦工業大学)、久野 義徳(埼玉大学)

# 第30回 画像センシングシンポジウム

The 30th Symposium on Sensing via Image Information

# SSII2024

2024年 6月 12日(水) ~ 14日(金)

パシフィコ横浜

(プレナリーセッションのみオンライン視聴いただけます)

## 発表募集

Call for Papers

発表応募期限： 2024年 3月 1日(金)

採否決定通知： 2024年 3月 15日(金)

カメラレディ原稿提出期限：2024年 4月 22日(月)

応募原稿：A4サイズ1ページから8ページ

カメラレディ原稿：A4サイズ2ページから8ページ



<http://ssii.jp/>